

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			ビルの一室であるため、活動スペースが狭いことは否めないが、すぐ近くに広い公園があるなど、外的な環境は恵まれている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			適切な配置が行われている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			室内はバリアフリーとなっている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日の朝礼を活かし、指導・療育方法の検討などを実施している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けアンケートを毎年度実施し、ご意見を参考に業務改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人のホームページに掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後の検討課題としたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年間を通して全職員が研修に参加できるよう配慮している。
適切 な	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもや保護者の意見を反映できるように努めている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			法人で使用しているアプリで作成している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月2回の個別支援計画策定会議、毎日の朝礼で支援・活動プログラムの検討を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			支援の振り返りを行い、プログラムの検討を実施している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個別の活動プログラム・タイムテーブルは、平日と休日・長期休暇の両方を策定している。

支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		サービス等利用計画をもとに、障がい特性を考慮したうえで、児童の強みを生かした計画作成に努めている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		打ち合わせを毎日実施し、それぞれの役割分担を明確にするよう、工夫している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援終了の次の日に振り返りや、情報交換を実施している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		ケース記録や業務日誌に毎日、記録をしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的にモニタリングと計画の見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		ガイドラインに則って、支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者もしくは担当者が参加するようにしている。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		保護者からの情報や学校との文書・電話によるやり取りによって、実施している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	該当児童なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保育所や幼稚園を訪問し、保育の様子を見学し担任とも情報共有を行い支援の参考にしている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	卒業後もなじみのある社会資源へ移行されるため情報提供はなかったが、必要に応じ情報提供に努めます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			ほとんどの職員が研修に参加した。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	新型コロナウイルスの影響により、機会を持つことはできていない。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか			○	新型コロナウイルスの影響により、機会を持つことはできていない。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時・電話連絡・連絡帳でのやり取りにおいて、情報共有に努めている。	

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	送迎時・電話連絡・連絡帳でのやり取りにおいて、情報共有に努めているが、ペアレント・トレーニング等は実施できていない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に行っている。また、文書を目にしやすい入り口付近に掲示している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時や電話連絡等で随時実施している。面談での話し合いなどを実施した。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	新型コロナウイルスの影響により、機会を持つことはできていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			細かな要望に対しても、職員間で情報共有を行い、適切に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、「Jきっずだより」を発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の取り扱いには、十分気を付けております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			日頃から声掛けを徹底し表情や様子で意思疎通ができるよう配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	新型コロナウイルスの影響により、機会を持つことはできていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			非常災害計画についての勉強会を行い、職員へ周知するとともに、計画や勉強会の様子を保護者へ配布した。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練を2回、実施した。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待・いじめ問題などの内容に関して、法人全体研修や事業所内研修で実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			計画に記載し、同意を得ている。記載された計画に対して定期的に見直しを行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				該当児童なし。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			その都度、報告・情報共有等を実施している。